

中村純子

## 秋の小径で影をみた

秋の小径で影をみたのだ

木々から葉っぱが落ちてきて

土の上にかぶさり

赤、茶、青、黄色、緑、

光が反射する

赤ん坊の泣き声と子どもたちの声  
大人が吐くため息と老人のあくび

光が反射し、音がひしめきあう

太陽が沈むと

月が夕やみに薄く光をにじませた

光の中で見た光景が

ぼんやりとかすんで、

ああこんなにも土は黒々と

やがて葉っぱは腐り、溶け、

葉脈だけが無残にも残され、

見上げてみると

昼間の木漏れ日はまるで

